

# 国家戦略特区 ～養父市の挑戦～

平成26年7月23日

養父市長 広瀬 栄



# 養父市の国家戦略特区

1

## 耕作放棄地等の再生

- 市と農業委員会との事務分担を見直し、農地流動化を図る(H26.7.4 基本合意)。
- 農業生産法人の要件を緩和し、耕作放棄地の再生を図る。

2

## 農産物・食品の高付加価値化の推進

- 農業生産法人による農作物(加工含む)の高付加価値化を図る。
- 農家レストランによる農作物の消費の拡大を図る。
- 農業への信用保証適用による農業生産法人の資金調達を図る。

3

## 交流者滞在型施設の整備

- 地域特有の古民家を活用し、農業と観光・歴史文化の一体的な展開を図る。

個人や企業など多様な担い手の確保を目指す

更なる規制改革

- ・地域経済の活性化
- ・農村環境の保全

&

- ・福祉施策
- ・教育施策
- ・防災防犯施策 等

養父市への効果

定住促進へ(養父市モデル)

- ・農業が身近な暮らしの実践
- ・民間事業者が参加しやすい環境づくり

国家への効果

- ・他の自治体への刺激
- ・中山間農業の活性化

# 規制改革として追加すべき項目(案)について

## 農業生産法人の出資・事業要件の緩和

- 継続的な農業経営をする場合、農業者以外の議決件(出資比率)を1/2以上にすることや、事業内容のうち農業以外が1/2以上でも農業生産法人と可とするよう検討する。

## 植物工場などへの農地転用の一層の円滑化

- 農業の6次産業化、成長産業化に資する農地の円滑な転用について検討する。

## 有害鳥獣防止対策の強化

- 農林業被害の原因であるシカやイノシシについて狩猟期間外に有害鳥獣捕獲許可がなくても「わな」による捕獲が可能となるよう検討する。

## 林地開発許可権限の市への移譲

- 森林資源を活用した施設整備において、小規模なものは市が許可できるようにするよう検討する。

## 小型の木質バイオマス発電推進

- 木質チップを活用したバイオマス発電を推進するため、一定の出力未達の「小出力発電設備」として各種規定や検査を免除することを検討する。

## シルバー人材センター会員の活用

- 高齢化が進んだ地域において、高齢者が活躍できる機会を確保できるよう検討する。

## 税制改正

- 農業生産法人の法人課税など、税制改正要望に向けて検討する。